

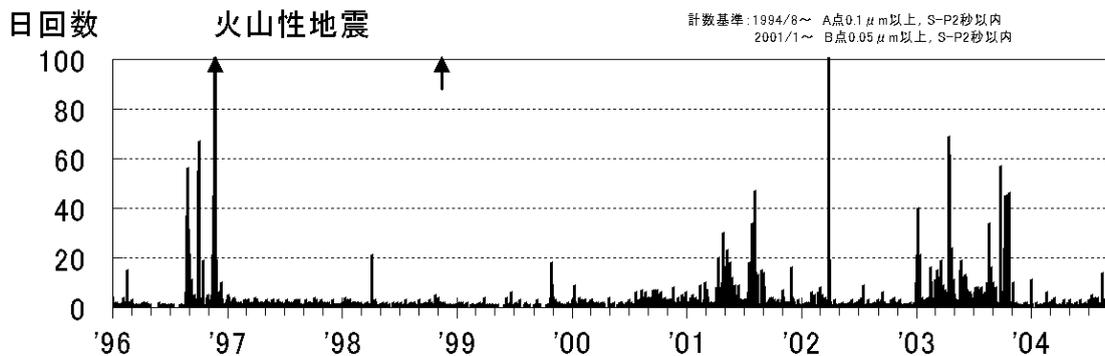
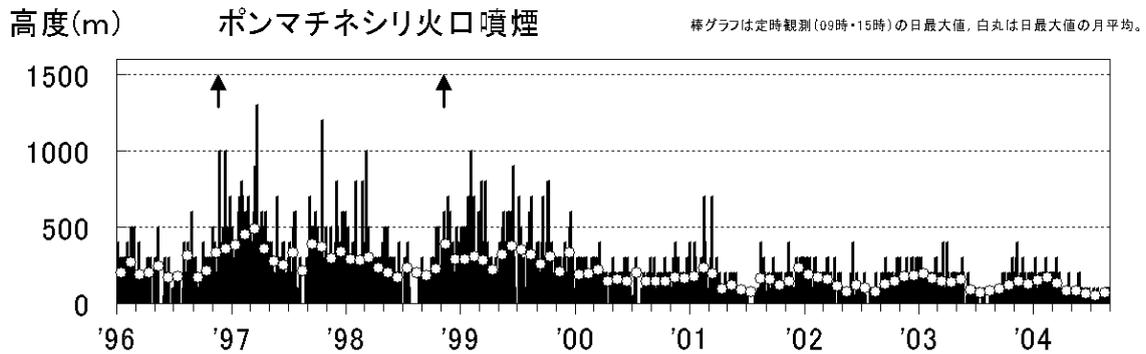
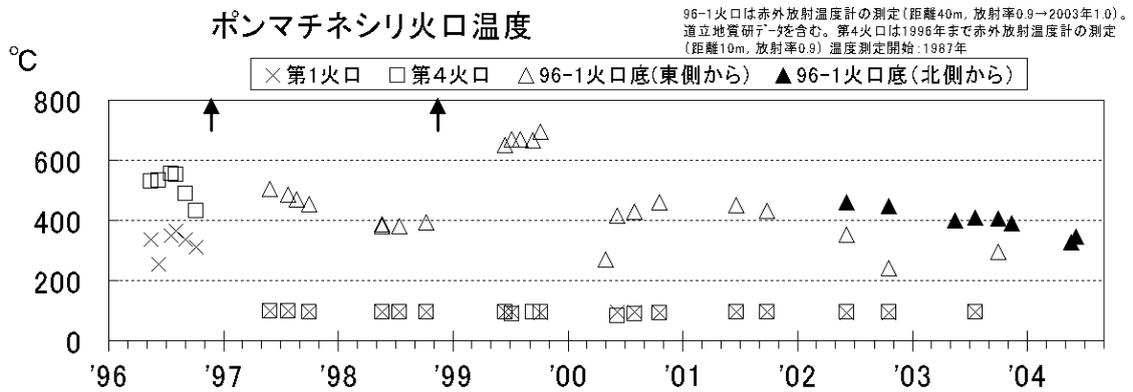
雌阿寒岳

1 概況

ポンマチネシリ 96-1 火口は高温の状態を維持していると推定され、火山活動はやや活発な状態が続いています。

2 噴煙の状況

今期間のポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m以下で推移しました。噴煙の高さや噴出の勢いは 2000 年以降やや低下した状態が続いています。



最近の火山活動経過図(1996年1月1日~2004年8月31日) 印は噴火

3 地震および微動の発生状況

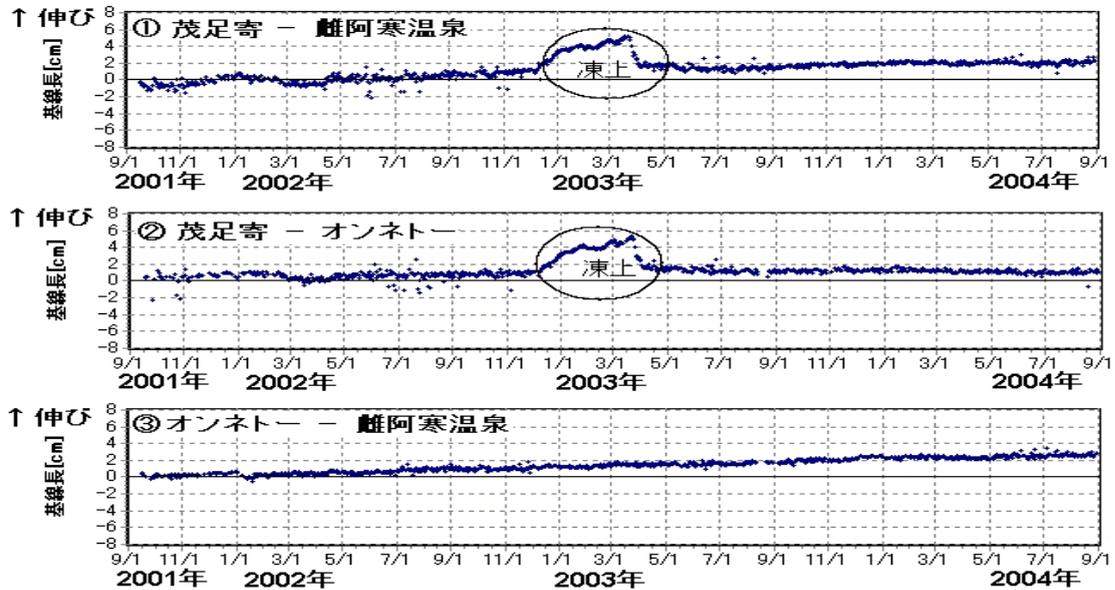
今期間は、13日～14日にかけて、中マチネシリ火口の南側が震源と推定される地震がややまとまって発生しました。ポンマチネシリ火口浅部が震源と推定される地震は1日あたり0～3回と少なく、静穏に経過しました。火山性微動は昨年1月以降観測されていません。

地震・微動の月回数(B点)

2003～2004年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
地震回数	156	352	19	12	19	20	17	15	16	17	33	52
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

西麓でのGPS連続観測では、やや伸びの傾向を示す変動が認められていますが、火山活動との関連については今後の推移を見て判断する必要があります。



基線長変化(2001年9月19日～2004年8月31日)

